平成27年3月6日

保護者のみなさまへ

平成26年度 川西市立川西南中学校への学校関係者評価および提言について

まだまだ寒い日が続きますが、保護者の皆様方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、学校教育アンケート調査及び学校評価・提言について、本年度も保護者・教職員のアンケート結果を昨年と比較検討し分析したものを、本年度の評議員会の学校評価・提言といたします。

川西市立川西南中学校評議員会

代表	大矢根 秀明 (PTA 顧問会)		
	田中 里香 (久代小校区)	千代 佐知子 (現 PTA)	
	吉田 雅紀 (加茂小校区)	廣井 綾子 (現 PTA)	

1、アンケート内容について

昨年度と同様に大きく3項目に分け、数値による客観的な見方を学校の現状を知る方法と考えました。保護者アンケートから、昨年と比べて多少の変動はありますがプラス傾向にあります。今年度は全項目で平均点数がプラスになっています。教職員の自己評価の平均点数は全体的にプラス傾向が見られ、これは教職員の課題解決への意識と具体的取り組みの表れという見方ができます。

2、各項目について

(1)めざす生徒像

5つの「あ」については、保護者・教職員の共通の願いです。保護者は昨年と比べてプラス傾向で高い評価をしています。保護者の基本的な生活習慣・学習習慣の意識の大切さが定着しつつあります。また、学校からの情報発信もできている様子がわかります。教職員も昨年より向上しています。しかし、「あきらめず、粘り強く」については、教職員は0.2ポイント高くなっているものの-0.4ポイントで、今後も課題として具体的に取り組む必要があります。保護者もこの項目については0.6ポイントでプラスですが他の項目に比べ低くなっています。「あいさつ」については今後も「あいさつができる南中」を目指す必要があります。南中生の「あたたかい思いやり」はこれからも大切にしたいところです。

(2)学校規律について

礼儀正しいあいさつができているか

保護者・教職員とも高い値です。昨年比で保護者0.3、教職員0.6ポイント高くなっています。生徒会や生活向上隊、風紀委員会が中心となってあいさつ運動に取り組む成果が出ています。今後もこの取り組みを続けていくことが大切です。

頭髪や服装など身だしなみは整っているか

保護者・教職員とも高い値です。昨年比で保護者が0.2ポイント高く、教職員も0.3ポイント高くなっています。教職員は日頃より基本的な生活習慣について指導し、保護者も学校と協力して指導しているものと思います。また、風紀委員会の活動等も影響していると思います。学校評議員会としては、今後も安心して安全な学校環境に努めてほしいと願っています。

集会や朝礼など静かに素早く整列できているか

保護者・教職員とも数値的にプラスです。昨年比で保護者が0.3ポイント高くなり、教職員は逆に0.1ポイント低くなっています。集団としての高まりはあります。今後も生徒会や生活向上隊、各学年の正副委員長などを中心に、生徒の自主性と集団の意識を高められることに期待します。

敬語など正しい言葉づかいができているか

保護者、教職員ともプラス傾向で0.1と0.3ポイントそれぞれ上がっています。家庭での取り組みの効果が出ているのではないかと思います。教職員も言葉づかいについ

ては指導の成果がプラスに出ています。気になる言葉づかいも見られるようですが、言葉の乱れが学校の乱れにつながる可能性があります。今後も細かな面への確認や点検も必要です。同時に保護者の協力も得ながら引き続き取り組む必要があります。

清掃活動にしっかり取り組んでいるか

保護者は0.2ポイント高くなり、教職員は0.5ポイント高くなりました。学校全体の環境を整えることは、落ち着いた雰囲気につながり、学習に集中でき、学力や生活の向上につながります。今後も清掃については整美委員会の活動など具体的な取り組みが必要であると思います。

教員は規律を保つために生徒にしっかり対応しているか

教員は保護者とよく連絡をとり、しっかり話しているか

教員同士が協力して色々な教育活動を進めていると感じるか

上記3項目について、今回すべて0.2ポイント昨年比高くなっています。保護者は教職員の行動を評価しています。教職員の自己評価も高く、教職員間の意思疎通が図られていると言えます。学校組織として大切なことであり今後も続けてください。

親は子どもに規律を守るように話しているか

保護者は全項目中で一番高い数値です。保護者が家庭で子どもに社会のルールなど、規範意識の大切さについて話している様子がうかがえます。その良い影響が学校生活の中でも見られます。今後も学校と家庭が連携していくことが大切です。

(3)学習面について

学校で一生懸命勉強に取り組んでいると感じるか

保護者・教職員ともプラスです。保護者は昨年比0.3ポイント高くなっています。生徒から学校の様子を聞いたり、授業参観やオープンスクール、行事での生徒の様子を見ています。授業内容や授業態度も良くなっているように見えています。今回、教職員も0.4ポイント上がっています。学校全体の落ち着いた雰囲気が影響しています。今後も授業規律の確保と授業内容の工夫をお願いします。

「鞆」成績表を毎回確認し、激励助言をしているか

学校の勉強は大切であると自分の子どもに話しているか

教職員が、毎回成績表に記入し、保護者に返されるのは大変でいいいで感謝されています。保護者もそれを機会に、子どもと会話することができているようです。保護者と教職員がこの成績表を通じて連携を図ることが大切です。保護者も家庭学習の意識が高くなっています。地道な取り組みですが3年間継続することで必ず力がつきます。結果としても出ているように思います。今後も継続して下さい。

家庭で勉強する習慣がついているか

保護者の「週末課題」に対する認識も高いものがあります。しかし、家庭学習の習慣についてはまだまだ課題が見られました。教職員の評価は昨年より下がっています。保護者・教職員とも一番低い項目です。家庭での学習習慣は個人差もあるようですが、今後、家庭とも連携を深め、週末課題をより充実させて下さい。昨年度から取り組んだ「自学のすすめ」は自主学習に役立ちます。「自分で計画を立て学習する」ことを今後の課題として取り組む必要があります。

先生は一生懸命授業されていると感じるか

今年も先生への保護者の評価は高く、教職員の自己評価も少しずつ高くなり、それぞれ0.2ポイント上がっています。一生懸命取り組んでいることがわかります。「子どもたち一人ひとりがしっかりと学力が身につくよう」に、これからも先生方の力が必要です。よろしくをお願いします。

今回、保護者アンケートの回収率が約87%で、昨年度より23%高くなりました。保護者は学校に対して肯定的にとらえています。マイナスの項目が、昨年に続きありませんでした。ほとんどの項目で高くなっています。しかし、課題もはっきりしてきたようです。学校として先生方が組織的に行動することで、子どもたちにより学習環境を提供できます。また、正確な情報を発信することで保護者の理解を得られると思います。今後もしっかりとした目標設定と課題に対する具体的な取り組みをお願いして、本年度の学校評価・提言とします。